

< あなたの治療について >








血内 - D(皮下)Pd (3-6c) - MM - q4w








今回の治療は、D(皮下)Pd という治療法で、ダラキューロ（DARA）という注射薬とポマリスト（POM）とレナデックス（DEX）という内服薬を併用して行います。ダラキューロ、ポマリストは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。レナデックスは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1、15日目にダラキューロの皮下注を行います。また、ポマリストを1～21日目、レナデックスを1、2、8、9、15、16、22、23日目に服用します。この治療を4週間（28日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3～7日目	8日目	9日目	10～14日目
①	ポマリスト (抗がん剤) 4mg/day	内服						
②	レナデックス (ステロイド)	内服			お休み			お休み
③	レスタミン アセトアミノフェン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み				
④	ダラキューロ (抗がん剤) 15ml/body	皮下注						

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	15日目	16日目	17～21日目	22日目	23日目	24～28日目
①	ポマリスト (抗がん剤) 4mg/day	内服				お休み		
②	レナデックス (ステロイド)	内服			お休み			お休み
③	レスタミン アセトアミノフェン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み				
④	ダラキューロ (抗がん剤) 15ml/body	皮下注						

★注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

ポマリストとダラキューロによる

- 好中球減少症、血小板減少
- インフュージョンリアクション

◎特徴的な副作用について

ポマリストにおける

- 傾眠、錯乱、疲労、意識レベルの低下、めまい

* 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう注意すること。

- 急性腎障害

「尿量が減る、むくみ、体がだるい」などの症状

- 腫瘍崩壊症候群

「意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ」などの症状

- 心不全、不整脈

「息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加、めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ、胸の不快感」などの症状

- 肝機能障害、黄疸

「疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる」などの症状

ダラキューロにおける

- インフュージョンリアクション

「アナフィラキシー、鼻閉、咳嗽、悪心、気管支痙攣、低酸素症、呼吸困難」などの症状

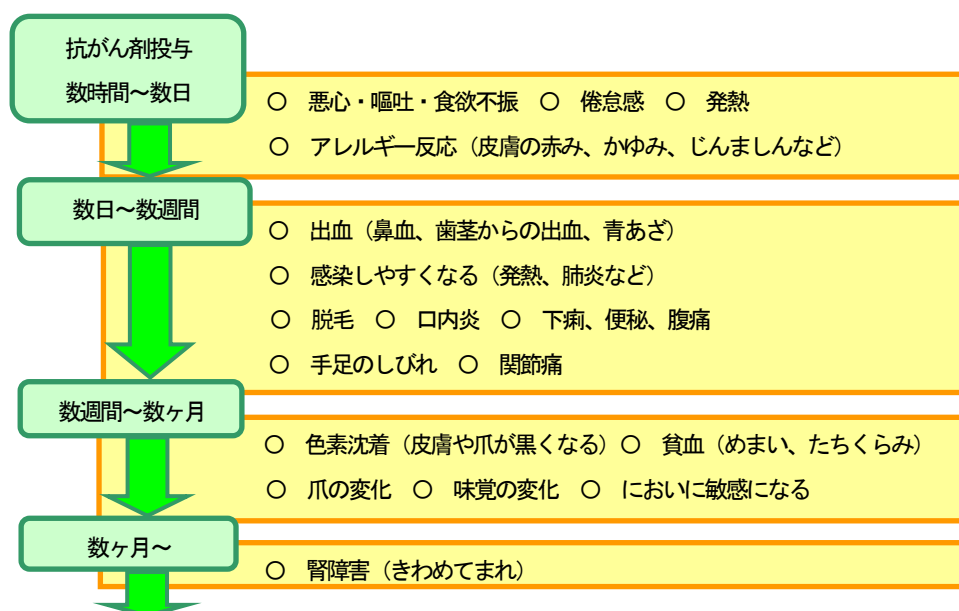
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ボマリスト】

[深部静脈血栓症、肺塞栓症] 急激な手足の腫れ・痛み・しびれ・発赤、呼吸困難、胸痛

[脳梗塞] 突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、意識障害

[骨髄抑制] 全身倦怠感、発熱、歯ぐきの出血

[感染症] 咳、痰、発熱

[進行性多巣性白質脳症] 意識障害、認知障害、麻痺症状（片側または両側の手足のまひ）

[間質性肺疾患] 発熱、から咳、呼吸困難

【ダラキューロ】

[インフュージョンリアクション] アナフィラキシー、鼻閉、咳、寒気、息切れ・息苦しい、吐き気、発熱、かゆみ、めまい

[骨髄抑制] 発熱、血便・血尿、あざ、出血しやすい

[感染症] 発熱、咳、痰、息切れ、食欲不振、全身倦怠感、吐き気、嘔吐、黄疸

[腫瘍崩壊症候群] 尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

[間質性肺疾患] 発熱、から咳、呼吸困難、疲労

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。